

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 人種のサラダボウル ～自分の信念を貫き生きる～

岩手県総務部財政課 主査 松田 耕一

私は2014年4月からの2年間、クリアニューヨーク事務所で勤務し、主に自治体の海外活動支援を担当しました。派遣元の岩手県関連の仕事としては、高校生派遣事業でのワシントンD.C. などへのアテンド、二戸市長のニューヨークトップセールス事業のアテンド、ロサンゼルスでの県産品プロモーションなどに携わり、本当に多くの学びを得ることができました。また、国際市・カウンティ支配人協会 (ICMA)、全米都市連盟 (NLC) およびカナダ・オンタリオ州自治体実務者協議会 (AMCTO) 年次総会への参加など、クリアでしか得ることができない経験と幅広い人脈を築くことができました。

海外生活が初めての私にとって、ニューヨークの2年間は全てが刺激的で大変充実したものでした。

### 人種のサラダボウル

アメリカは、多様な人種、民族の文化の独自性を認める多文化国家であり、まさに「人種のサラダボウル」です。私も仕事やプライベートを通してさまざまな人種の方々と交流する機会がありました。人種は違えど一人ひとりが愛国心とボランティア精神に満ち溢れ、自信を持って行動していました。「人種のサラダボウル」というアメリカ社会で暮らす人々は、周りに流されず自身の信念に基づき行動し力強く生きています。その姿は私に勇気を与え、「自分も信念を持って生きたい」と思うようになりました。

### 支援と被災地への思いは続く

私は2011年3月11日の東日本大震災津波直後は、県の災害復興対策本部に勤務しており、海外からの支援要請などを直に見聞きしていました。そのためアメリカ滞在中はこれまでの支援への感謝と、力強く復興しようとする被災地の思いや将来の姿を伝えたいと強く思っ

ていました。現地で支援を続けてくださっている関係機関や団体の方々、実際に会って交流させていただいたことは、涙が出るほど嬉しいものでした。また、ニューヨークで毎年3月に行われている追悼式に被災地代表として英語でスピーチさせていただいたことも一生の財産となりました。帰任した今でもアメリカで出会った方々との交流は続いており、大変有難い限りです。

### クリアでの経験を生かして

帰国後は、観光課で3年間インバウンドの仕事を経験し、現在は財政課で働いています。業務遂行の際は目の前のことにとらわれるのではなく、常にその先を見据えた広い視野を持つように心がけています。今後もクリアでの経験を糧に、困難に直面してもひるまずにチャレンジしていきたいです。



東日本大震災津波追悼式典 [TOGETHER FOR 3.11] でのスピーチ (ニューヨーク) (出典: TOGETHER FOR 3.11)



岩手県高校生派遣事業 (ワシントンD.C.)

### プロフィール

クリア以降の経歴：

- 2013年4月～ 東京本部総務部企画調査課 主査
- 2014年4月～ クリアニューヨーク事務所 所長補佐
- 2016年4月～ 岩手県商工労働観光部観光課 主査
- 2019年4月～ 同総務部財政課 主査